

# 分析試験成績書

依頼者 株式会社 丹羽メディカル研究所

検体名 バランスプラス

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目5番1号



2013年(平成25年)09月20日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

## 分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
水分	4.3 g/100g	-----		常圧加熱乾燥法
たんぱく質	19.4 g/100g	-----	1	ケルダール法
脂質	25.6 g/100g	-----		酸分解法
灰分	4.0 g/100g	-----		直接灰化法
糖質	31.8 g/100g	-----	2	-----
食物繊維	13.3 g/100g	-----		酵素-重量法
エネルギー	462 kcal/100g	-----	3	-----
ナトリウム	3.1 mg/100g	-----		原子吸光光度法
リン	719 mg/100g	-----		ICP発光分析法
鉄	8.02 mg/100g	-----		ICP発光分析法
カルシウム	165 mg/100g	-----		ICP発光分析法
カリウム	993 mg/100g	-----		原子吸光光度法
マグネシウム	308 mg/100g	-----		ICP発光分析法
銅	0.61 mg/100g	-----		ICP発光分析法
亜鉛	5.49 mg/100g	-----		ICP発光分析法
マンガン	12.5 mg/100g	-----		ICP発光分析法
セレン	23 µg/100g	-----		蛍光光度法
総クロム	検出せず	0.05 mg/100g		ICP発光分析法
ビタミンA(レチノール当量)	130 µg/100g	-----	4	-----
α-カロテン	140 µg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
β-カロテン	1490 µg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
チアミン(ビタミンB <sub>1</sub> )	0.70 mg/100g	-----	5	高速液体クロマトグラフ法
リボフラビン(ビタミンB <sub>2</sub> )	0.40 mg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
ビタミンB <sub>6</sub>	1.01 mg/100g	-----	6	微生物定量法
総アスコルビン酸(総ビタミンC)	4 mg/100g	-----	7	高速液体クロマトグラフ法

注1. 計算式:(全窒素-カフェイン態窒素)×6.25

注2. 栄養表示基準(平成15年厚生労働省告示第176号)による計算式:100-(水分+たんぱく質+脂質+灰分+食物繊維+カフェイン+タンニン)

注3. 栄養表示基準(平成15年厚生労働省告示第176号)によるエネルギー換算係数:たんぱく質, 4;脂質, 9;糖質, 4;食物繊維, 2

注4. α-カロテン24µg及びβ-カロテン12µgをそれぞれレチノール当量1µgとした。

注5. チアミン塩酸塩として。

注6. 使用菌株:Saccharomyces cerevisiae(S. uvarum) ATCC 9080

注7. ヒドラジンで誘導体化した後測定した。

以上

# 分析試験成績書

依頼者 株式会社 丹羽メディカル研究所

検体名 バランスプラス

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目6番1号



2013年(平成25年)09月20日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

## 分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
ビタミンE(α-トコフェロール)	5.9 mg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
β-トコフェロール	1.0 mg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
γ-トコフェロール	9.2 mg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
δ-トコフェロール	1.9 mg/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
スーパーオキシド消去活性	7.1×10 <sup>3</sup> 単位/g	-----	1	電子スピン共鳴(ESR)法
タンニン(タンニン酸として)	1.46 g/100g	-----		FOLIN-DENIS法
無水カフェイン	0.13 g/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
ゲニホシト酸	0.19 g/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
大豆イソフラボン	36 mg/100g	-----	2	高速液体クロマトグラフ法
エピカテキンカレート	0.43 g/100g	-----		高速液体クロマトグラフ法
総アフラトキシン	検出せず	-----	3	-----
アフラトキシンB <sub>1</sub>	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンB <sub>2</sub>	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンG <sub>1</sub>	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンG <sub>2</sub>	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
BHC	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
DDT	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
アルドリン及びピレトリン	検出せず	0.005 ppm		ガスクロマトグラフ法
エンドリン	検出せず	0.005 ppm		ガスクロマトグラフ法
EPN	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
ダイズン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
パラチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
フェントチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
フェンチオン	検出せず	0.01 ppm		液体クロマトグラフ-質量分析法
フェントエート	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
マラチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
カルバリル	検出せず	0.01 ppm		液体クロマトグラフ-質量分析法

注1. J. M. McCord及びI. Fridovichが定義した単位 [J. Biol. Chem., 244, 6049(1969)] に相当する消去能として。

注2. ダイズン, グリシチン, ゲニシン及びそれぞれのアグリコン, アセチル体及びマロニル体の総量。アセチル体及びマロニル体は, ダイズン, グリシチン又はゲニシンとして算出し, 分子量で補正した。

注3. アフラトキシンB<sub>1</sub>, B<sub>2</sub>, G<sub>1</sub>, G<sub>2</sub> の合計値。ただし, 数値の取り扱い平成23年食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」による。

以上